



令和3年度

障害者スポーツ推進プロジェクト

(地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業)

事業報告

愛知県

愛知県の障害者スポーツの現状と課題

関係者	問題点
障害者・家族	指導者が身近な地域にいない、いるかわからない スポーツをするきっかけとなる場がない
スポーツ施設職員	障害者のスポーツ活動に対応できるスタッフがない
企業・地域住民	障害者と交流する場が少ない 障害者スポーツを知る機会がない

[解決に向けて]

障害者が地域で日常的にスポーツを楽しむためには

- ・ 障害者と地域との交流の促進
- ・ 地域における指導者人材の育成 が必要

取組①～障害者と地域との交流の促進～

目的	障害者が地域でスポーツ活動をする機会を提供し、地域住民と障害者の交流を促進する。		
取組内容	総合型地域スポーツクラブにおいて、障害のあるなしにかかわらず誰もが参加できるプログラムを実施する。		
実施地域	尾張	西三河	東三河
参加者数	40人	35人	60人
実施日	2022年1月15日(土)	2022年1月30日(日)	2021年12月12日(日)
実施クラブ	わっと楽しくスポーツ ふそう (丹羽郡扶桑町)	高橋スポーツクラブ (豊田市)	SKITSクラブ (豊橋市)
会場	扶桑町総合体育館	サンアビリティーズ豊田	豊橋市石巻地区体育館
競技種目	ボッチャ	ダーツ	ボッチャ

取組②～地域における指導者人材の育成～

目的	障害者が身近な地域でスポーツ活動をするために適切な助言・情報提供を行う人材となるキーパーソンを育成し、障害者が日常的に地域でスポーツを楽しむことができる環境を整備する。	
取組内容	地域で活動するスポーツ指導者等の人材に対して、障害についての講義や、障害者がよりスポーツを楽しむためのルール検討、運営デモンストレーションを実践する障害者スポーツの勉強会・体験会（ワークショップ）を実施する。	
主な対象者	スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ関係者、理学療法士、教員	
実施地域	尾張	三河
参加者	27人	14人
カリキュラム	1日目 (勉強会)	障害や障害者スポーツについての講義、障害者スポーツの紹介 講義：障害者と障害者スポーツ、スポーツを通じた共生社会
	2日目 (体験)	競技団体の指導のもと競技を体験し、より障害者が楽しめるルールを検討 実施競技：車いすバスケットボール、ドッジボール、バウンドテニス
	3日目 (実践)	障害者が参加するテストマッチ（ゲーム）の運営、審判を担い、 障害者のスポーツ活動に対するアドバイスの実践

今回の成果

障害者と地域との交流

- 地域のスポーツクラブが障害者スポーツに関心を持ち、障害者と地域が交流できた
→自主的に継続して実施していくきっかけ、近隣クラブとノウハウの共有
- 地域のスポーツ指導者等が障害者にも目を向けることができた
→地域の活動で、日常的に障害者にもスポーツに関する助言・情報提供するきっかけ

ネットワークの構築

- 実行委員会の設置
 - ・スポーツ団体、障害者スポーツ団体等、関係者の顔の見えるネットワークを構築し、円滑な取組を促進
- 障害者スポーツ指導者協議会と地域のスポーツ指導者
 - ・参加者が、地域での行事に向け、今回の講師（障害者スポーツ指導員）と用具の貸出や指導者の派遣などの情報交換
 - ・障害者スポーツ指導員資格を取得し活動の幅を広げたいという参加者も
- 障害者と競技団体
 - ・今回初めて体験した競技を今後も続けたいという障害者が、健常者競技団体に登録

地域のスポーツ指導者、地域住民の気づき

- 障害者を身近な存在として認識し、「一緒に楽しんだ」「喜んでもらえた」という経験

地域課題の整理

総合型地域スポーツクラブの運営体制に地域差

- 障害者と地域との交流の場がなかった地区も
→プログラムを実施した総合型地域スポーツクラブは経験を活かし、モデル地域として自主的に取組を継続。来年度以降さらに県内各地域へ広げて地域差を解消していく。

スポーツ推進委員や教員のネットワーク

- 障害者とスポーツをした経験がない指導者等も
→今回の経験を活かし、障害に配慮した行事・計画を立案。各関係者間の定例会等でも情報共有するなど横展開。

自治体（市町村）の推進体制

- スポーツ推進委員として活動しようとしても、積極的でない自治体も
→今回の経験を地域内に展開。さらに行政職員の参加も積極的に募集。

今後の方向性

障害者と地域との交流の促進について

- 今回実施したクラブを地域のモデルにとして自主的に実施、近隣クラブとノウハウを共有、県内地域の範囲を広げていく。
- 障害者のスポーツ活動の定着を目指し、参加後に継続してスポーツ活動をしたいと感じられる、満足度の高い取組にする。

地域における指導者人材の育成について

- より幅広い地域の指導者等を対象に、引き続き県内2地域で実施していくことで、より障害者が地域でスポーツ活動するための場の選択肢を増やす。
- より広い範囲の市町村からの参加で、県内隅々まで障害者スポーツの取組を広げていく。
- 県障害者スポーツ大会やイベント等への継続した協力や、障害者スポーツ指導員の資格取得を希望するなど、参加者が活躍の場を広げたいと感じられる、満足度の高い取組にする。



担当 愛知県 スポーツ局 競技・施設課
障害者スポーツグループ 河邊
電話 052-954-7472